2025 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部 : /School of Science and	今年度開講/Availability	/有:/Available
	Technology		
学域等/Field	/設計工学域 : /Academic Field of	年次/Year	/3年次:/3rd Year
	Engineering Design		
課程等/Program	/専門導入科目:/Introductory Subjects	学期/Semester	/前学期:/First term
分類/Category	/:/	曜日時限/Day & Period	/木 3 : /Thu.3

科目情報/Course Information					
時間割番号	12014301				
/Timetable Number					
科目番号	12060021				
/Course Number					
単位数/Credits	2	2			
授業形態	講義:Lecture	講義:Lecture			
/Course Type					
クラス/Class					
授業科目名	電子システム工学セミナーII: Electronic Engineering Seminar II				
/Course Title					
担当教員名	/電子システム工学課程関	係教員:Relat	ed teacher of	the Undergraduate Progra	m of Electronics
/ Instructor(s)					
その他/Other	インターンシップ実施科	国際科学技術	ドコース提供	PBL 実施科目 Project	DX 活用科目
	目 Internship	科目 IGP		Based Learning	ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員によ				
	る科目				
	Practical Teacher				
科目ナンバリング					
/Numbering Code					

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course

- 日 本セミナーは以下を目的とする。
 - ①電子システム工学課程で進めている各研究分野の研究内容を理解し、卒業研究への関心を高める。
 - ②各研究テーマ内容と学んできた専門科目との関係を理解する。
 - ③各研究テーマの解説を通して、電子システム工学分野と社会の接点を理解する。

この目的は達成するため、電子システム工学課程で進めている研究分野を6つにグルーピング(固体電子物性、プラズマ応用、 光応用、電子回路・機器、通信応用、物性基礎)して、各グループが2~3回の講義を行う。講義では、各研究グループで進め ている研究が社会のどの様な課題解決を目指し、どの様なユニークなアプローチで取り組み、どの様な研究成果を目指している に留意して、分かり易く解説する。レポートを課して、受講生の理解度を評価する。

The purposes of this seminar are as follows; for the students 1. to understand research areas and topics in the department and raise the interests for thesis, 2. to understand the relationship between research topics and the subjects delivered in the undergraduate program of electronics, and 3. to understand roles of electronic engineering in our society.

We classify research groups and labs in the department into six subgroups; solid-state physics, plasma science, optics, electronic circuits and devices, communication engineering, and applied physics. Each subgroup provides 2-3 lectures on its research topics. We will measure comprehension of the students by reviewing the reports submitted.

学習の到達目標 Learning Objectives

日 電子システム工学課程で進めている各研究分野の研究内容を理解する。

各研究内容と学んできた専門科目との関係を理解する。

各研究テーマの解説を通して、電子システム工学分野と社会の接点を理解する。

卒業研究テーマへの関心を深める。

英 To understand research areas and topics in the department and raise the interests in them for thesis

To understand the relationship between research topics and the subjects delivered in the undergraduate program of electronics

To understand roles of electronic engineering in our society

To raise the interest in the research topic for thesis

学習	学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals(JABEE 関連科目のみ)		
日			
英			

授業	授業計画項目 Course Plan			
No.	No. 項目 Topics		内容 Content	
1	日	ガイダンス	電子システム工学セミナーⅡの狙いと進め方を説明する。	
	英	Guidance of the course	The schedule and summary of the course are briefly explained.	
2	日	電子材料工学、プラズマ基礎工	研究で解決しようとしている課題、研究のアプローチ、期待される研究成果等について	
		学分野の研究(1)	解説。	
	英	Recent progress in research in	Recent progress in research activities in the department are delivered.	
		the solid-state physics and		
		plasma science (1)		
3	日	電子材料工学、プラズマ基礎工	研究で解決しようとしている課題、研究のアプローチ、期待される研究成果等について	
		学分野の研究(2)	解説。	
	英	Recent progress in research in	The same as above.	
		the solid-state physics and		
		plasma science (2)		
4	日	電子材料工学、プラズマ基礎工	研究で解決しようとしている課題、研究のアプローチ、期待される研究成果等について	
		学分野の研究(3)	解説。	
	英	Recent progress in research in	The same as above.	
		the solid-state physics and		
		plasma science (3)		
5	日	光応用分野の研究(1)	研究で解決しようとしている課題、研究のアプローチ、期待される研究成果等について	
			解説。	
	英	Recent progress in research in	Recent progress in research in optics and their applications (1)	
		optics and their applications (1)		
6	B	光応用分野の研究(2)	研究で解決しようとしている課題、研究のアプローチ、期待される研究成果等について ()	
O	Н		解説。	
	英	Recent progress in research in	The same as above.	
		optics and their applications	The came as above.	
		(2)		
7	日	光応用分野の研究 (3)	研究で解決しようとしている課題、研究のアプローチ、期待される研究成果等について	
			解説。	
	英	Recent progress in research in	The same as above.	
		optics and their applications		
		(3)		
8	日	電子回路分野の研究(1)	研究で解決しようとしている課題、研究のアプローチ、期待される研究成果等について	
			解説。	
	英	Recent progress in research in	The same as above.	
		electronic circuits (1)		
9	日	電子回路分野の研究(2)	研究で解決しようとしている課題、研究のアプローチ、期待される研究成果等について	
			解説。	
	英	Recent progress in research in	The same as above.	
		electronic circuits (2)		
10	日	電子機器、通信応用分野の研究	研究で解決しようとしている課題、研究のアプローチ、期待される研究成果等について	

		(1)	解説。
	英	Recent progress in research in	The same as above.
		electronic circuit and	
		communication engineering	
		(1)	
11	日	電子機器、通信応用分野の研究	研究で解決しようとしている課題、研究のアプローチ、期待される研究成果等について
		(2)	解説。
	英	Recent progress in research in	The same as above.
		electronic circuit and	
		communication engineering	
		(2)	
12	日	電子機器、通信応用分野の研究	研究で解決しようとしている課題、研究のアプローチ、期待される研究成果等について
	ļ	(3)	解説。
	英	Recent progress in research in	The same as above.
		electronic circuit and	
		communication engineering	
		(3)	
13	日	応用物質科学分野の研究(1)	研究で解決しようとしている課題、研究のアプローチ、期待される研究成果等について
	 :		解說。
	英	Recent progress in research in	The same as above.
		applied physics and its	
		applications (1)	
14	日	応用物質科学分野の研究(2)	研究で解決しようとしている課題、研究のアプローチ、期待される研究成果等について
	 ::		解說。
	英	Recent progress in research in	The same as above.
		applied physics and its	
4 =		applications (2)	
15	日	応用物質科学分野の研究(3)	研究で解決しようとしている課題、研究のアプローチ、期待される研究成果等について
			解說。
	英	Recent progress in research in	The same as above.
		applied physics and its	
		applications (3)	

	履修条件 Prerequisite(s)		
	日	特に無し。3回生に受講を強くすすめる。	
_	英	The third year students are strongly recommended to take this course.	

授業	授業時間外学習(予習・復習等)			
Req	Required study time, Preparation and review			
日	初回ガイダンスを下記日程で実施します。			
	日時: 4月11日(木)3限目 (12:50-14:20) 場所: 1号館 0121講義室			
	本セミナーの狙いと予定を説明します。3回生は全員参加してください			
英	All the third year students should attend the guidance of this course that will be held in the following,			
	Date and time: 12:50-14:20, Thursday 11 April 2024 Place: Bldg. #1, Lecture Room #0121			

教科書/参考書 Textbooks/Reference Books

- 日 適宜プリントを配布。
- 英 Documents or copies of the slides for the class may be distributed, if necessary.

成績評価の方法及び基準 Grading Policy

- 日 出席状況、レポートの評価結果に応じて評点を行う。
 - レポートの評価は下記の本セミナの目的に則り
 - ①電子システム工学課程で進めている各研究分野の研究内容を分かり易く解説し、卒業研究への関心を高める。
 - ②各研究テーマ内容と学んできた専門科目との関係を理解する。
 - ③各研究テーマの解説を通して、電子システム工学分野と社会の接点を理解する。
 - 上記の目的①~③に留意して、理解度を評価することとします。
- 英 We will give a grade by estimating the attendance in the class and results of reports submitted.

留意事項等 Point to consider

日 電子システム工学課程・専攻で進めている研究内容を理解するため、28年度から内容を改めて、実施する。卒業研究配属先を決める際にも、有効な情報を得る事ができる。3回生全員に強く受講を進める。

英